

# 4 用語の定義と概念

## はじめに

この項では、本ガイドラインのケア、治療を考えるうえで、整理しておくべき用語の定義について本文から抜粋してまとめた。特に、国際的に定義が定まっていないものや、学会により異なる定義を採用しているものについて取り上げた。定義や日本語訳が概ね定まっているものは取り上げていないため、本文中のすべての用語の定義を抜粋したわけではない。用語の定義は MeSH (medical subject headings)、関連学会の定義に準じ、本ガイドライン委員会ですべて再検討した。

ここに挙げた用語（日本語訳）や定義は、今後、日本緩和医療学会のみならず関連団体を含めて、用語の統一を行っていく過程で変更される可能性がある。

### 嘔気

消化管の内容物を口から吐出したいという切迫した不快な感覚。nausea

〔注〕 Nausea の日本語訳として、「嘔気」または「悪心」が用いられている。医学中央雑誌の医学用語シソーラスおよび日本癌治療学会の『制吐薬適正使用ガイドライン』では、「悪心」を採択している。本ガイドラインでは、緩和ケア領域では、「嘔気」が慣習的に頻用されていることから、nausea の日本語訳として「嘔気」を用いた。

### 嘔吐

消化管の内容物が口から強制的に排出されること。vomiting

### 悪性腹水

腹膜播種や腫瘍の浸潤など、がん、悪性腫瘍が原因となって腹腔内に液体が貯留した状態。

malignant ascites

### 便秘

腸管内容物の通過が遅延・停滞し、排便に困難を伴う状態。constipation

〔注〕 本ガイドラインでは、日本緩和医療学会「緩和医療ガイドライン作成委員会 がん疼痛ガイドライン作業部会」の定義を引用した。

### 看護ケア

健康の保持増進、回復に関するケアを意味する。nursing care

〔注〕 本ガイドラインでは、非薬物療法のうち看護師が関わる可能性がある介入を看護ケアとした。

### 補完代替医療

現段階では通常医療の一部であると考えられていないさまざまな医学、健康管理システム、施術、生成物質などの一群。complementary and alternative medicine (CAM)

〔注〕 本ガイドラインでは、NCCAM (National Center for Complementary and Alternative Medicine: 米国の国立補完代替医療センター) の定義を翻訳引用した。

### 食事指導

がん患者に対する、食事、栄養に関する教育、サポート（人工的な栄養補給を含む）に関する介入を食事指導とした。

〔注〕 本ガイドラインでの定義。

### 緩和手術

原疾患の治癒を目的とせず、症状を軽減する目的で行われる手術。palliative surgery

### 内視鏡治療

内視鏡を用いて行う治療。endoscopic surgery

[注] 本ガイドラインでは、胸腔鏡 (thoracoscope), 腹腔鏡 (laparoscope) を用いる治療は内視鏡治療から除外した。

### ドレナージ

病的に貯留した液体や分泌物を取り除くこと。

drainage

### 制吐薬

嘔気・嘔吐を予防, 軽減するための薬剤。

antiemetics

### 消化管閉塞

器質的な異常により, 口腔から肛門に至る消化管の正常な流れが妨げられること。イレウス (ileus) のうち, 機械性イレウス, 単純性イレウス (閉塞性イレウス) と同義。intestinal obstructions

### 悪性消化管閉塞

悪性腫瘍が原因で発生する消化管閉塞のこと。malignant bowel obstructions (MBO)

### 上部消化管

食道, 胃, 十二指腸が含まれる消化管。

upper gastrointestinal tract

### 下部消化管

十二指腸より肛門側の小腸と大腸が含まれる消化管。lower gastrointestinal tract

### オピオイド

麻薬性鎮痛薬やその関連合成鎮痛薬などのアルカロイドおよびモルヒネ様活性を有する内因性または合成ペプチド類の総称。opioid

[注] 本ガイドラインでは, 日本緩和医療学会「緩和医療ガイドライン作成委員会 がん疼痛ガイドライン作業部会」の定義を引用した。

(新城拓也)